

令和3年度事業報告書

社会福祉法人 松野町社会福祉協議会

目 次

社会福祉福祉事業

1 法人運営事業.....	- 1 -
2 地域福祉推進事業.....	- 4 -
2-1 地域福祉推進事業.....	- 4 -
2-2 福祉相談・援助活動の推進.....	- 7 -
2-3 共同募金運動等の推進.....	- 9 -
2-4 福祉団体事務.....	- 10 -
2-5 訪問型サービス事業.....	- 11 -
3 在宅福祉サービス事業.....	- 13 -
3-1 居宅介護支援事業.....	- 13 -
3-2 訪問介護事業.....	- 14 -
3-3 訪問入浴事業.....	- 14 -
3-4 身体障害者居宅介護事業.....	- 14 -
4 まごころ銀行運営事業.....	- 15 -

1 法人運営事業 (総事業費 21,101,382 円)

(1) 本会の支援基盤及び財政基盤を強化し健全な運営を図るため、会員の募集を行った。

会員募集結果	一般会員	1,052,000 円	(1,052 件)
	特別会員	54,000 円	(18 件)
	合計	1,106,000 円	

(2) 理事会、評議員会の開催

○理事会 (3 回)

令和 3 年 6 月 9 日 出席者 理事 11 名 監事 1 名

(報告) 評議員の選任結果について

会長の職務執行状況について

任期満了に伴う評議員候補者の推薦について

任期満了に伴う理事、監事候補者の推薦について

任期満了に伴う評議員選任・解任委員の選任について

訪問介護事業等の廃止、訪問型サービス等の開始に伴う定款の変更について

令和 2 年度事業報告の承認について

令和 2 年度決算の承認について

令和 3 年度資金収支第 1 次補正予算 (案) について

評議員会の開催予定について

その他

令和 3 年 6 月 25 日 出席者 理事 10 名 監事 2 名

(報告) 任期満了に伴う評議員の選任結果について

任期満了に伴う理事、監事の選任結果について

会長・副会長の選任について

訪問型サービスの扱いについて

その他

令和 4 年 3 月 14 日 出席者 理事 10 名 監事 2 名

(報告) 会長の職務執行状況について

評議員補欠選任候補者の推薦について

令和 3 年度資金収支第 2 次補正予算 (案) について

ハラスメント防止規程の改定について

育児・介護休業等に関する規則の改定について

職員就業規則の改正について

臨時・嘱託職員就業規則の改正について

パートタイマー就業規則の改正について

令和 4 年度事業計画 (案) について

令和 4 年度資金収支予算 (案) について

役員等賠償補償保険の加入について
評議員会の開催予定について
その他 まごころ銀行公募事業の開始について
第2期地域福祉活動計画について

○評議員会（2回）

令和3年6月25日 出席者 評議員18名 欠席7名
（報告）任期満了に伴う評議員の選任結果について
任期満了に伴う理事・監事の選任について
訪問介護事業等の廃止、訪問型サービス等の開始に伴う定款の変更について
令和2年度事業報告の承認について
令和2年度決算の承認について
令和3年度第資金収支1次補正予算（案）の承認について
その他 一般会費について

令和4年3月30日 出席者 評議員 22名 欠席3名
（報告）評議員の補欠選任結果について
令和3年度資金収支第2次補正予算（案）の承認について
令和4年度事業計画（案）の承認について
令和4年度資金収支予算（案）の承認について
その他 まごころ銀行公募事業について
第2期地域福祉活動計画について

(3) 評議員選任・解任委員会の開催（2回）

○評議員選任・解任委員会

令和3年6月16日 出席者 選任・解任委員5名 会長、事務局2名
（報告）任期満了に伴う評議員選任・解任委員の選任結果について
任期満了に伴う評議員の選任について
その他

令和4年3月18日 出席者 選任・解任委員5名 会長、事務局1名
評議員の補欠選任について
その他 訪問介護事業廃止後の社協の取組みについて

(4) 苦情解決第三者委員会

令和3年11月1日 第三者委員3名、話し合いにて解決済み

(5) 監査の実施状況

令和4年5月18日 （令和3年度監査）監事2名、会長、職員2名
令和4年5月31日 （監査講評）監事2名、会長、副会長、職員2名

(6) 労務管理・職員数の状況

法人全体					単位:人
区分	正規職員	嘱託	臨時	パート	合計
令和3年4月1日	7	2	0	1	10
令和4年3月31日	8	2	0	4	14
増減	1	0	0	3	4

法人運営・地域福祉推進事業					単位:人
区分	正規職員	嘱託	臨時	パート	合計
令和3年4月1日	4	1	0	1	6
令和4年3月31日	4	1	0	4	9
増減	0	0	0	3	3

在宅福祉サービス事業					単位:人
区分	正規職員	嘱託	臨時	パート	合計
令和3年4月1日	3	1	0	0	4
令和4年3月31日	4	1	0	0	5
増減	1	0	0	0	1

(7) 社協内部門間、近隣社協との連携強化

幹部職員会：12回

職員研修会：職員階層別WEB研修

コンプライアンス、ハラスメント、メンタルヘルス講座等

3町（鬼北、愛南、松野）社協意見交換会：中止（感染症予防）

3社協連携研修（砥部、愛南、松野）：1回（web）

(8) 各種大会の開催

①松野町敬老式の開催

本年度の松野町及び松野町中央公民館との三者共催による松野町敬老式は新型コロナウイルス感染症の影響により式典は中止とし、長寿の祝い歳の方々（数え77歳、80歳、88歳、90歳、99歳、100歳）に、記念品を行政職員がご自宅へ訪問し贈呈した。

記念品等費用：748,720円

主な内容

U-CAT：町長のお祝いのメッセージ

虹の森保育園によるアトラクション

枝廣篤昌先生による落語

記念品の贈呈

祝い歳該当者数

祝い歳	生まれ年	合計
喜寿(数え77歳)	昭和20年生まれ	36
傘寿(数え80歳)	昭和17年生まれ	53
米寿(数え88歳)	昭和9年生まれ	41
卒寿(数え90歳)	昭和7年生まれ	39
白寿(数え99歳)	大正12年生れ	7
百賀(数え100歳)	大正11年生れ	6
合 計		182

②福祉のつどいの開催

コロナウイルス感染症の影響により未実施。

③松野町戦没者追悼式の開催

コロナウイルス感染拡大防止のため、関係機関と協議の上、中止を決定し、延野々地区主催による戦没者追悼行事に参加した。

参加者 約 20 名（松野町遺族会 3 名）

令和 4 年 3 月 21 日開催 費用：12,500 円（献花、記念品代等）

④少年の日を祝う会への助成

松野中学校と相談し、中学 2 年生を対象に記念品等を贈り、その開催を支援した。（少年式は授業時間数の確保等のため、平成 16 年度に開催形式を変更し「少年の日を祝う会」とし、中学校単独実施となっている。）

助成費用 22,000 円（記念品代）

2 地域福祉推進事業（総事業費 20,318,702 円）

2-1 地域福祉推進事業

(1) 第 1 期松野町地域福祉活動計画の推進

「いまある支え合いを大切に自分たちでまちづくり」を基本理念に、平成 29 年度から令和 3 年度を活動期間とする地域福祉活動計画の 5 年目にあたり、地区の活動状況や課題を振り返り、全体計画の評価と 2 期計画の策定を行った。

コロナウイルス感染症拡大防止の観点から、10 地区を 3 グループに分けて推進委員会を開催し、目指す地域像について共有しながら地区計画も策定した。

計画書には、子ども達の描いたイラストや松野中学校生徒会のプロジェクトなども掲載し、様々な年代の関わりを得ることができた。

地区福祉活動計画推進委員会の開催 1 回/各地区

事業費 地域福祉活動計画推進助成金 15,000 円×10 地区＝150,000 円

(2) ボランティアグループの支援

松野町福祉ボランティアグループと協働して、つるし雛作り、通学路の清掃

活動、子育て世帯への支援活動、広報誌の音訳、読み聞かせ等のボランティア活動を支援した。

また、日赤奉仕団のボランティア活動を支援した。

○福祉ボランティアグループ総会の開催（2回）

令和3年3月24日 令和3年7月16日

○給食サービス

新型コロナウイルス感染症の影響により未実施

利用者への見守りのみ行った。

○朗読ボランティア活動（朗読ボランティアグループによる自主的活動）

広報まつの等を年12回録音しテープを貸出した。利用者 1名

読み聞かせの実施（学童保育夏休み・春休み、西小学校毎月第1金曜日）

○折り紙ボランティア活動（折り紙ボランティアグループによる自主的活動）

町内の小中学校へ折り紙や壁面かざりを届けたり、虹の森まつの保育園にて折り紙教室を開催し、世代間交流を行った。活動回数 7回

○通学路清掃活動（日赤奉仕団と協働） 西小校区1回

○つるし雛作りボランティア活動（日赤奉仕団と協働）

新型コロナウイルス感染症の影響で地域行事が縮小等するなか、地域を元気にするために地域おこし協力隊と協働でつるし雛を作り、道の駅虹の森公園内休憩所に飾ってもらった。

また、感染症による偏見や差別をなくすため、松野中学校と協働し、メッセージを書いてもらい一緒に展示した。

○松野中学校生徒会 まちおこプロジェクトへの参加

生徒会企画による町内の清掃活動、健康づくりを通じた世代間交流に参加した。

○ボランティア活動保険への加入

誰もが安心してボランティア活動に参加できるよう、社協を拠点とした福祉ボランティア活動者全員に対応できる保険に加入した。

加入者数 60名 34,000円（一人350円）

○日赤奉仕団の支援

- ・総会の開催 令和3年3月25日
- ・通学路清掃活動
- ・つるし雛作りボランティア活動
- ・松野中学校生徒会 まちおこプロジェクトへの参加
- ・緊急時IDカードの作成と配布

防災への意識づけとして、家庭でできる防災対策と緊急時の連絡先等の記入ができるカードを作成し、奉仕団に配布した。また、奉仕団から近隣住民にも配布した。

(3) ボランティア活動の推進

- ボランティア活動の場を広げるため、戸別訪問等による困りごとを解決するためにボランティアと相談し、活動へとつなげた。
- 主体的な活動となるよう、ボランティアとの意見交換を行った。
- ボランティア活動の質の向上のため、講習会等の情報提供を行った。

(4) ふれあい郵便の実施

一人暮らしの高齢者並びに介護保険利用者へハガキを年 2 回郵送し、安否確認を行い、地域の見守り活動を推進した。また、老人クラブと連携し、生活の困りごとや心配ごと、興味ある活動等を調査した。

ふれあい郵便配達数	年賀状	400 名	
	調査	757 名	合計 1,157 名

(5) 生きがい活動支援通所事業の実施

在宅で生活する 65 歳以上の高齢者を対象に、班ごとに月 1 回程度の寄り合いを持ち、要介護状態への予防を図れるよう、自立的な生活と生きがいや社会参加を促進できるよう、健康講座や趣味の創作活動を支援した。

コロナウイルス感染症拡大防止のため、中止・開催時間を短縮する対応をとったが、中止期間中は個別に電話で体調等の聞き取りや訪問を行ったり、脳トレや体操のプリントを郵送した。

スタッフ 職員 3 名

(正規職員 1 名、パート職員 2 名)

地区 5 班 (松丸 目黒、西の川 吉野 1、吉野 2)

利用者 51 名

参加費 1 回 100 円 事務費等

(6) ふれあい・いきいきサロンの拡充

○ 地域で孤立する人をなくすため、高齢者や障害者、子育て中の親子などが、気軽に集い、地域の人々とのふれあいの場として、また情報交換の拠点として、楽しく参加しやすい活動を地域住民が運営できるよう支援し、心身の健康を保ち、生きがいづくりを推進した。コロナウイルス感染症の影響で集まって開催しづらかったが、参加者同士で安否確認をし合い、つながりを絶やさない活動を支援した。

グループ名	実施回数	参加者
萩の会 (延野々五郎丸)	9 回	12 名
脱線グループ (豊岡後)	12 回	7 名
なでしこ (豊岡前)	12 回	18 名
あじさい (富岡地吉)	12 回	10 名
ミナクル会(富岡古市場)	23 回	6 名
パワーズ (吉野)	49 回	10 名

コスモスの会（蕨生）	10回	14名
ここにこ会（蕨生谷口）	10回	7名
陽だまり会(蕨生奥内)	10回	9名
むくの会（奥野川）	10回	18名

(7) 生活支援体制整備事業（町受託事業） 事業費：2,505,983円

介護保険事業の地域支援事業における生活支援体制整備事業生活支援コーディネーター業務を、平成28年8月から松野町との契約により実施。

- ・生活支援サービス協議体 会議2回開催
- ・毎日体操「未来貯筋体操」づくりへの取り組み

住民の健康づくり、地域の見守りネットワークづくりのため、理学療法士、地域おこし協力隊と連携し、座ってできる体操を作り、周知のためのチラシを作成した。

(8) 福祉教育への取り組み

ふだんのくらしをしあわせにするという視点で福祉を身近に感じ、みんなと一緒に幸せに暮らしていくために必要なことや出来ることを考えるきっかけづくりとして、学校との協働で福祉教育に取り組んだ。

○福祉教育の実施 松野中学校2年生

安心して暮らせる地域づくりのため、高齢者疑似体験、地域のボランティア活動者との意見交換を通して、自分ができることについて考えた。

○職場体験学習の受け入れ 松野中学校3年生

職場体験の中学生に、福祉学習の授業やボランティア総会に参加することで、社協の役割や地域課題について知ってもらう機会となった。

2-2 福祉相談・援助活動の推進

(1) 心配ごと相談所事業の実施（町受託事業） 事業費：124,000円

○相談員（民生児童委員18名）を中心に、毎月1回社会福祉協議会等において心配ごと相談所を開設し、あらゆる悩みごとが気軽に相談に応じ、相談者の精神的な負担軽減できるよう、傾聴、助言、関係機関につなぐなど相談支援活動に努めた。

相談件数 0件

○年2回弁護士による専門的立場からの指導並びに助言を仰いだ。

相談件数 4件 [不動産の境界線・不動産購入にあたっての貸付、税金相談・債権回収・不動産の名義変更]

(2) 福祉サービス利用援助事業の実施（県社協受託事業） 受託金：398,000円

認知症や障害者など判断能力に不安、または不十分な方が、できる限り地域で安心して、自立した生活が送れるよう、福祉サービスの利用にあたり、本人

との契約により下記の援助を行った。

- ・福祉サービスの利用契約における援助
- ・情報提供、相談、助言
- ・日常的金銭管理、書類等預かりサービス
利用者 6名 相談件数 620件 (347件)
生活支援員 2名
利用料 18,000円(1回1時間程度 単価1,000円 生活保護者は無料)

(3) 法人成年後見人の実施

法人後見受任者 なし (昨年度被後見人死亡による)
成年後見制度利用促進事業により、宇和島地域 (1市3町) による権利擁護センター設置 (令和4年4月1日) に向け、宇和島地域の自治体・社協と連携を図り協議を行った。

(4) 生活困窮者自立支援事業 (県受託事業) 受託金：5,400,000円

家計改善支援事業 (県受託事業) 受託金：2,100,000円

愛媛県からの受託により、「くらしの相談支援室」を開設し、生活困窮者が抱える多様で複合的な課題の解決に向け、総合的な相談を受け付け、関係機関との連携により、情報提供や必要な支援を行うと共に、プランの作成を行い、一体的、かつ計画的な支援に努めた。

また、家計の収支の均衡がとれていないなど、家計に課題を抱える生活困窮者からの相談に応じる家計改善支援事業も併せて実施した。

- ・新規相談受付件数 13件 (21件)
- ・プラン作成件数 2件 (3件)
- ・支援調整会議の開催 1回 (1回)

(5) 生活福祉資金貸付事業 (県社協受託事業)

(愛媛県社協の委託事業 受託費 591,080円、相談体制整備 418,800円)

低所得世帯等を対象とした貸付金制度である生活福祉資金において、民生児童委員の協力により相談受付及び貸付事務を行うとともに、償還事務を実施した。

新型コロナウイルス感染症の発生による休業や失業により、一時的又は継続的に収入が減少した世帯を対象として、特例貸付を行った。

資金別貸付状況表 (令和3年度)					
	福祉資金 (緊急小口含む)	教育資金	コロナ特例	合計	備考
貸付件数	4件	1件	29件	34件 (34件)	
貸付金額	327,745円	75,700円	13,350,000円	13,753,445円	

のべ相談件数 86件 (92件)

(6) 小口資金貸付事業

緊急または不時の出費を要する場合に、生活困窮者の自立を支援するため、民生委員と連携して相談支援及び小口資金の貸付けを行った。

- ・令和3年度貸付件数 12件（11件）
- ・令和3年度末貸付高 326,000円
- ・預金額 174,000円
- ・原資 500,000円（原資を336,000円から増額）

2-3 共同募金運動等の推進

(1) 共同募金運動の推進

本年度募金目標額731,000円を設定、各部落区長、組長、民生児童委員協議会、各種団体と住民の皆様の理解と協力により、下記の実績をおさめることが出来た。

共同募金目標額	731,000円
共同募金実績額	758,845円
目標達成率	103.8%

(2) 共同募金配分金事業（2年度募金による3年度配分事業充当）の実施

共同募金配分金事業費 743,845円

① 一般募金配分金事業費：476,845円

○ふれあい・いきいきサロンへの助成

サロン活動助成金 180,000円（9グループ）
18,000円（1グループ）

○地域食堂支援、災害時に使用する備品、介護予防のための備品整備、世代間交流への取り組みに対する費用

費用 143,235円

○中学校卒業記念品の図書カードを通して学習支援（卒業生21名）

費用 42,000円

○小学校入学記念品の学童傘贈呈による登下校の安全支援

（新入生20名） 費用 38,610円

○町内の集会所に設置されている遊具を専門業者に依頼し一斉点検を行い、児童の健全育成の支援を行った。

点検箇所 10箇所

（礁崎児童公園、向井公園、向井集会所公園、延野々集会所公園、隣保館公園、豊岡後集会所公園、豊岡前住宅集会所公園、梁瀬集会所公園、伊井公園、逆杖公園）

調査費 55,000円

② 歳末たすけあい運動の実施 事業費：267,000 円

令和 3 年度においても「つながり ささえあう みんなの地域づくり」をスローガンに、歳末たすけあい運動を各部落区長・組長の支援を受けて実施した。この運動に対し、住民の皆様の温かい協力により、303,500 円の善意が寄せられ、全ての義援金を福祉施設入所者 18 名と、町内在住者 168 名へ贈った。

なお、町内在住者の義援金配布においては、地区担当民生委員の協力により、見守りを兼ねて実施した。

※事業費と募金額の差額 36,500 円は次年度一般募金配分金に充当予定

(3) 赤い羽根地域福祉推進号特別事業

事業費：1,177,890 円

○地域福祉活動で活用している車両の老朽化により助成を受け、訪問や巡回で活用する車両の整備を行った。

(4) 日本赤十字社 活動資金募金

日赤県支部との目標額 559,000 円を設定、活動資金募金運動を展開した結果、住民の皆様の理解と各部落の区長、組長の協力により、下記の実績をおさめることが出来た。

活動資金募金目標額	559,000 円	
活動資金募金実績額	614,000 円	目標達成率 109.8%

2-4 福祉団体事務

(1) 松野町老人クラブ連合会への自立支援

松野町老人クラブ連合会の事務局として、理事会等の開催、会計処理等を行いその活動を支援した。

① 会議開催の支援

- ・理事会 開催回数 2 回
- ・総会 書面による同意

② 各種大会等の引率

- ・県老人クラブ大会 コロナウイルス感染症拡大防止のため中止
- ・県老人クラブスポーツ大会

③ 軽スポーツの普及支援

- ・クロッケー大会
- ・ペタンク大会 コロナウイルス感染症拡大防止のため未実施

④ 単位老人クラブの活動支援

- ・総会の資料作成支援
- ・松丸地区老人クラブ再開支援

(2) 松野町身体障害者福祉協議会への支援

松野町身体障害者福祉協議会の事務局として、役員会の開催、会計処理等を行いその活動を支援した。

① 会議開催の支援

- ・役員会 開催回数 1回
- ・総会 書面による同意

② 各種大会等の引率

- ・県障害者福祉推進大会 コロナウイルス感染症拡大防止のため中止
- ・中四国身体障害者福祉大会 不参加
- ・県身障連市町団体代表者会議
- ・県障がい者スポーツ大会 コロナウイルス感染症拡大防止のため中止

③ 運営費の助成 26,400 円

(3) 松野町遺族会への自立支援

松野町遺族会の事務局として、役員会等の開催、会計処理等を行いその活動を支援した。

① 会議開催の支援

- ・役員会 開催回数 1回

② 延野々地区戦没者追悼行事に参加

③ 運営費の助成 26,400 円

(4) 松野町母子寡婦福祉協議会への支援

① 運営費の助成 16,000 円

(5) 朗読ボランティアへの支援

① 運営費の助成 12,000 円

2-5 訪問型サービス事業

(1) 訪問型サービス事業 事業費：2,776,358 円

本会において、訪問介護事業が令和3年6月末をもって廃止後、行政との協議により、松野町から受託するかたちで、令和3年8月より町内に在住する要支援1，2の方を対象として生活援助サービスを開始した。

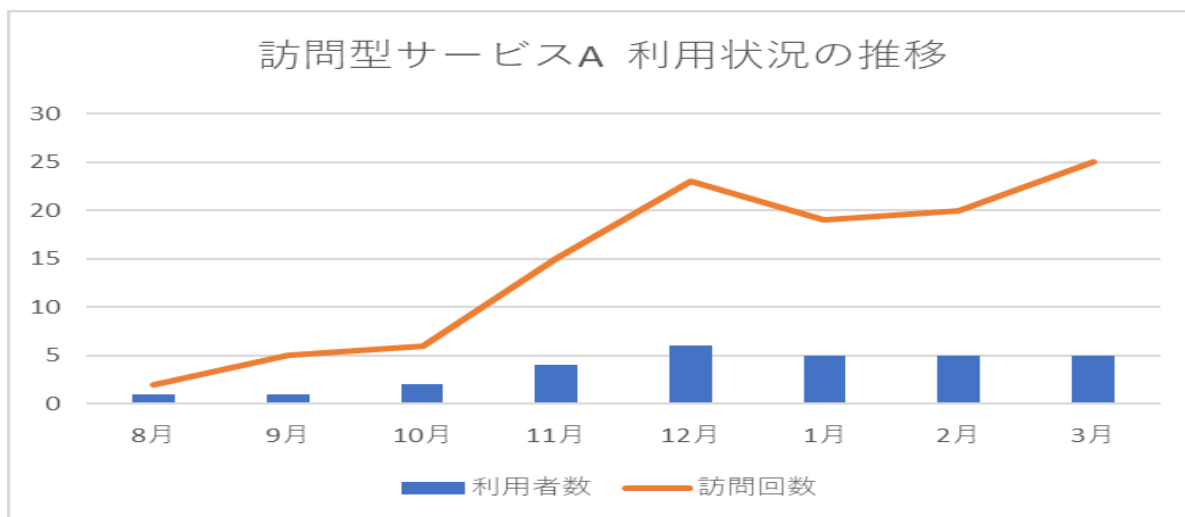
利用者が、要介護状態となることの予防、要支援状態の軽減または悪化を防止し、住み慣れた自宅で自立した日常生活を営むために、掃除や調理、ゴミ出しなどの軽微な家事援助など、松野町事業実施要綱に基づき、生活援助に限定したサービスを実施。

なお、身体介護が必要な利用者など、従来の訪問介護サービスを必要とする利用者については、ケアマネージャーのケアプランにより、事業所と利用者が契約の上、これまでどおり訪問介護サービスが利用できるよう調整をしている。

実施体制 管理者 1 名 サービス提供者 2 名
利用料 2,000 円／回（委託料 1,800 円+利用者負担金 200 円）

利用状況

	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
利用者数	1	1	2	4	6	5	5	5	29
訪問回数	2	5	6	15	23	19	20	25	115



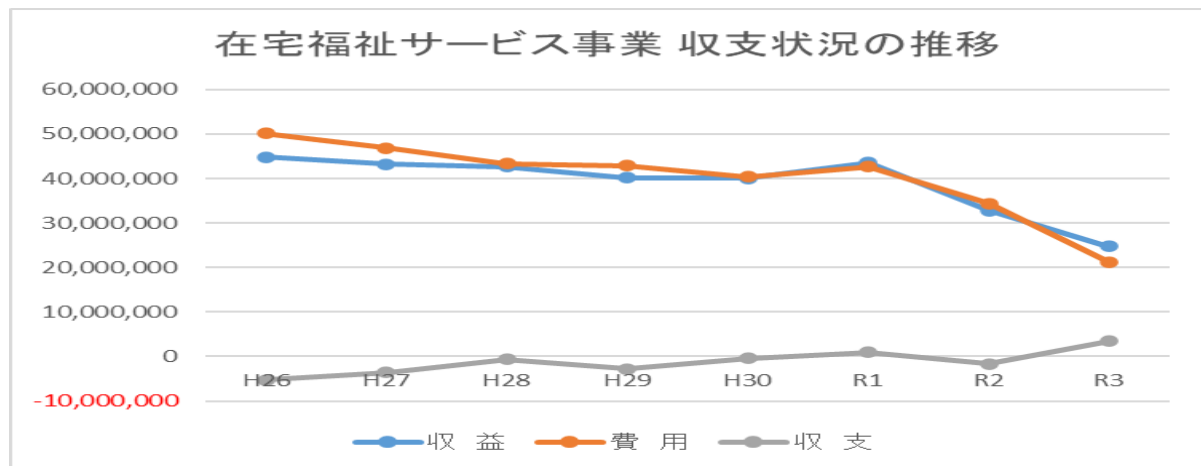
3 在宅福祉サービス事業（総事業費 21,262,611 円）

在宅福祉サービス事業においては、過疎地域における人口減少、施設や通所サービスなど多様な福祉サービスがある中で、在宅サービスを選択する利用者の減少が続いてきた。また、全国的に在宅サービスを担う介護職員の担い手不足も深刻で、資格を有する職員の確保も非常に困難で、訪問介護、訪問入浴、身体障害者居宅介護の3事業は、将来にわたり介護保険法における事業所指定要件である人員配置基準を満たし、良質で安定的に事業を継続することが困難であると判断（令和2年度）し、利用者の調整を行い、令和3年1月から休止、6月末をもって事業を廃止とし、居宅介護支援事業のみの実施となった。

当期活動増減差額 3,466,184 円 次期繰越活動増減差額 10,791,354 円

在宅福祉サービス事業収支状況の推移

	H26	H27	H28	H29	H30	R1	R2	R3
収益	44,807,215	43,202,131	42,680,631	40,141,213	40,039,960	43,564,284	32,767,592	24,728,799
費用	50,119,200	46,829,505	43,322,522	42,930,733	40,425,539	42,647,967	34,395,712	21,262,615
収支	▲ 5,311,985	▲ 3,627,374	▲ 641,891	▲ 2,789,520	▲ 385,579	916,317	▲ 1,628,120	3,466,184



3-1 居宅介護支援事業

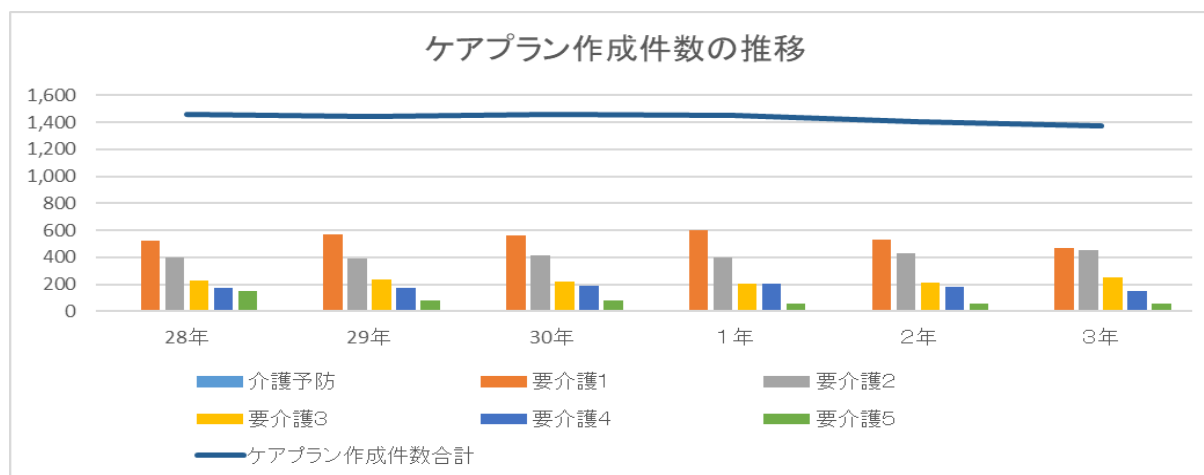
指定居宅介護支援事業所として、介護保険利用者の居宅介護支援計画の作成やサービス担当者会議の開催（円滑な支援のための事業者と利用者、介護者家族間の連絡調整）、及び訪問相談支援活動を行い、24時間連絡相談体制を整備するなど、利用者が健全で安らかな在宅生活を送れるよう、また、家族の介護負担の軽減が図れるよう努めた。

また、利用者世帯への相談助言活動を通じて、対象世帯の抱える課題を解決するため、地域、施設等をつなぐパイプ役として、地域包括支援センター、医師、理学療法士、保健師、民生委員、本会の地域福祉部門等との連携により、地域福祉の向上に努めた。

訪問介護・訪問入浴事業の廃止に伴う累計赤字 29,030,518 円を本事業から補填した。 当期活動増減差額 △25,564,329 円（4,641,077 円）

ケアプラン作成件数の年度推移

年度／認定区分	28年	29年	30年	1年	2年	3年
介護予防	0	0	0	0	0	0
要介護1	519	567	558	597	534	471
要介護2	396	392	411	396	427	455
要介護3	225	237	219	203	212	250
要介護4	169	172	191	201	178	146
要介護5	152	80	82	54	55	53
ケアプラン作成件数合計	1,461	1,448	1,461	1,451	1,406	1,375



3-2 訪問介護事業

令和3年6月末をもって事業を廃止とした。

当期活動増減差額 6,627,949円 (△4,380,117円)

(累計赤字 6,627,954円を居宅介護支援事業より補填)

(固定資産、リース債務は他の事業へ移管)

3-3 訪問入浴事業

令和3年6月末をもって事業を廃止とした。

当期活動増減差額 22,402,564円 (△1,889,080円)

(累計赤字 22,402,564円を居宅介護支援事業より補填)

3-4 身体障害者居宅介護事業 (訪問介護事業と一体的に実施)

令和3年6月末をもって事業を廃止とした。

4 まごころ銀行運営事業（総事業費 970,000 円）

町民の方の善意の寄付金を受付管理し、今年度は町内団体からの活動助成金の申し込みは無かったものの、寄付者が希望された使い道に沿い、本会の地域福祉活動や介護保険事業、また地域を巡回する車両の購入費用の一部として活用させていただき、その健全な管理運営に努めた。

令和3年度 寄付金 1,501,000 円 50 件
 寄付金総額（前年度末総額） 25,356,719 円（24,825,302 円）
 （531,417 円増 対前年度比）

寄付申込書における使途希望状況

使途目的	金額	件数	割合(金額比)	割合(件数比)
地域福祉事業のために使ってください	180,000円	10	12%	24%
介護保険事業のために使ってください	81,000円	5	5%	12%
法人に一任します	1,240,000円	35	83%	83%
その他		0	0%	0%
計	1,501,000円	50	100%	119%

活用状況

- ・ 令和3年度 まごころ銀行助成金交付事業（公募） 申込件数 0 件
- ・ 地域福祉推進事業 400,000 円
- ・ 社協介護保険事業 200,000 円
- ・ 福祉車両購入 370,000 円
 （共同募金事業と折半で 1,177,890 円で車両を購入）